

並木麻輝子先生と巡る

サロン・デュ・ショコラとブルターニュ食文化紀行

日程:2012年10月26日(金)~11月3日(土)7泊9日 募集〆切:9月17日(月)

旅行代金:368,000円(15名以上の場合)



私、並木麻輝子が主催する、毎年恒例の海外食文化&スイーツ探訪ツアーを、今年も秋の「サロン・デュ・ショコラ・パリ」訪問と絡めて開催いたします。今回の訪問地はブルターニュ各地&パリ。今年も数多くの食生産者やお店、工場などを訪問予定です！

ブルターニュ駆け足紹介

ブルターニュは、フランスの北西部、英仏海峡と大西洋に突き出た半島。同地方は、中世の面影が残るシテ（城塞都市）や、コロンバージュ（木骨組み）を配した町並み、趣のある小さな村々など、さまざまな見どころを抱える観光地として、また沿岸部は人気のリゾート地として知られています。ラテンの国フランスにありながら、ケルトの流れを汲む土地柄や、先史時代から存在するという、ミステリアスな巨石群の遺跡、キリスト教にちなんだ石の彫刻カヴェールなど、神秘的なイメージもブルターニュの魅力の一つ。

もちろん、ここならではの個性豊かな食産物も多々。ゲランドの自然海塩や、フランスでも希少な有塩バター（フランスは無塩バターが一般的）、それらを使ったキャラメルやガトー・ブルトン、クイニー・アマン、ガレット・ブルトンヌなど、甘じょっぱいスイーツの数々は必食です。フランスでも屈指の上質なムール貝や牡蠣、オマール海老をはじめとする海産物、風味豊かな子羊「プレ・サレ」、味の濃い野菜や果実も魅力。なかでも蕎麦粉の地ブルターニュ発祥の「ガレット（蕎麦粉のクレープ）」は名物中の名物。ガレットと好相性の「シードル（リンゴの発泡酒）」も同地の特産です。

Salon du Chocolat PARIS



「サロン・デュ・ショコラ・パリ」は世界最大のショコラの祭典。幕張メッセのような広大な会場に、世界各国の有名チョコレート店やメーカー、アフリカや南米など原産地の出展者までが一堂に集う様子はまさに圧巻です。一流パティシエによるセミナーやチョコレートファッションショー、チョコレートエステ、職人が腕を競うコンクールなどなど、催しも盛りだくさん。さらにフォワグラ専門店やスパイス店、本屋、郷土菓子店などのブースも並び、おいしいもの好きにはたまらないイベントです。

訪問予定地:ブルターニュ地方/ゲランドの塩田と城壁に囲まれた中世の町、謎の巨石群がひしめくカルナック、

大西洋岸のリゾート地キブロン、陶器と木組みの家々で知られるカンペール、ゴーギャンも愛した絵のような村ポンタヴェン、映画にも登場する美しい海辺の町サン・マロ、中世の面影を色濃く残すディナン、そして世界遺産で知られるモン・サン・ミッシェル。できればナントやフランスのもっとも美しい村の一つに数えられるロクロナンにもご案内したい！と思っております。

パリではサロン・デュ・ショコラのほか、お店巡り（人気パティスリー案内）の日も別に設けています。

ちなみにキブロンでは、日本でも人気の「アンリ・ル・ルー」本店や、ランデヴァンにある同店のラボ、同地の名物コンフィズリー「ニニシュ」の専門店（製造工程も見られます）、ブルターニュ郷土菓子の名店「メゾン・リギデル」、ベルイロワーズ（フランスきってのサーディン加工ブランド）の工場などを訪問。日本の人気パティシエも御用達のフルーツ加工品ブランド「フルティエール」社の本社工場も見学予定。ポンタヴェンではガレット・ブルトンヌの名店トゥルー・マッドをはじめとするビスケット専門店巡りを、カンペールでは、マカロン専門店やブルターニュ郷土菓子の人気店巡り、サン・マロではクイニー・アマンやファー・ブルトンの専門店を訪問予定。その他、シードルやバター製造のラボ、朝市なども訪問したいと思っています。もちろん、ブルターニュ名物のそば粉のクレープ「ガレット」の専門店や、郷土料理店にもご案内します！



予定スケジュール（概要）

10月26日(金)	20時 成田空港集合 21:55発 AF277(予定)で、パリへ
10月27日(土)	早朝パリ着。乗り継ぎ便でブルターニュ地方レンヌへ。バスに乗り換え、レンヌの町とパティスリーを見学後、世界遺産のモン・サン・ミッシェルへ。町と僧院見学後にメール・ブーラルの名物オムレツでランチ。サン・マロに移動し、町散策と、世界屈指のバターのブランド「ボルティエ」のラボ見学（予定）。希望者は私（並木）と夕食へ。（サン・マロ泊）
10月28日(日)	町散策後にディナンへ。その後、フランスでもっとも美しい村の一つ「ロクロナン」やポンタヴェンに立ち寄りつつ、カンペールに移動。到着後カンペール焼きの陶器工場見学。郷土料理店にて夕食。（カンペール泊）
10月29日(月)	カンペールの朝市とパティスリー見学後にシードル農家訪問。果実の加工で名高い「フルティエール社」の本社工場へ。その後ランデヴァンの「アンリ・ル・ルー」のラボ訪問。謎の巨石群の遺跡で知られるカルナックを経てキブロンへ移動。そば粉のクレープ（ガレット）専門店にて夕食。（キブロン泊）
10月30日(火)	「メゾン・リギデル」、「アンリ・ル・ルー本店」、「ベルイロワーズ」、ニニシュの専門店のアトリエなどを見学後、塩の町ゲランドへ。城壁に囲まれた中世の町を散策後、塩田見学。ゲランドと隣接する、人気のリゾート地ラ・ボールの「クリストフ・ルッセル本店」も訪問予定。可能ならナントにも立ち寄り、町見学後にパリへ移動。（パリ泊）
10月31日(水)	町散策をしつつ、メトロで見本市会場へ。「サロン・デュ・ショコラ」見学。（パリ泊）
11月1日(木)	パリ市内散策及び人気パティスリー巡り。夜：最終日夕食会。（パリ泊）
11月2日(金)	終日フリー。20:00頃ホテル出発。23:20のAF278（予定）にて帰国の途へ。
11月3日(土)	19:15 成田着（予定）

* 希望者が多い場合は、ワインで知られるナントにも1泊し、31日午前中にパリへ移動。午後、町散策&お店

めぐり、11月1日にサロン・デュ・ショコラ訪問。

* 日本出発日はなるべく仕事後に夜便で出て、帰国日は、午後まで現地で楽しんでからパリを発つようにしたいと思っています。

募集要項



旅行日程：2012年10月26日(金)～11月3日(土)7泊9日

募集〆切：9月17日(月)

旅行代金：15名様以上の場合：368,000円

(20名以上328,000円 / 10名～12様の場合：408,000円)

※空港諸費用は含まれておりません。別途、成田空港施設使用料、現地空港税、燃油サーチャージ(約62,000円)がかかります。一人部屋追加代金：72,000円

食事：朝食6回(ホテル)、昼食1回(モンサンミッシェル)、夕食3回(カンペール、キブロン、パリ)

予定航空機(空席状況により、変更になる場合があります)

10/26 AF277 成田ーパリ(21:55発 04:15着)、10/27 AF5707 パリーレンヌ(09:35発 10:45着)、11/2 AF287 パリー成田(23:20発 19:15着)

利用予定ホテル

サンマロ：OCEANIA、カンペール：MERCURE、キブロン：SOFITEL THALASSA、(ナント：MERCURE)、パリ：AMBASSADOR

申し込み、お問い合わせ、資料請求先

日本通運株式会社 東京旅行支店 団体営業第二部 首都圏営業第四課

〒135-0041 東京都江東区冬木16-10 日通永代ビル4F

TEL：03-5809-9654 FAX：03-5621-8292

担当：江頭・徳永 営業時間：[月～金] 09:30～18:00 *土日祭日はお休みさせていただきます。

企画&主催：オフィス・フェーヴ

●オフィス・フェーヴ HP <http://www.feve.jp/> (こちらにも掲載しています)